

令和6年度 CSR活動報告書

10年後に向けたビジョン

We make

NEW LIFE CENTER

暮らしの真ん中から、まちに彩りを創ろう。

令和7年6月



株式会社 新都市ライフホールディングス

Share the Smile

～人が輝く街、笑顔が行き交う施設～

当社は、総合的な商業デベロッパーとして、
環境と人にやさしい施設づくりに全社をあげて取り組んでいます。

■ 会社概要

社名 株式会社新都市ライフホールディングス
設立 昭和53年(1978年)12月25日
本社 東京都新宿区西新宿六丁目5番1号
新宿アイランドタワー28階
資本金 4,644百万円
事業内容 グループ会社の持株会社としてグループ経営を推進し、事業会社として商業施設等の管理運営・テナント支援・調査・計画・コーディネート・管理組合業務・保険代理業務等を行う。
有資格者(令和7年4月1日現在)
宅地建物取引士、管理業務主任者、マンション管理士、一級建築士、社会保険労務士、第二種電気主任技術者、損害保険募集人、SC経営士等
役社員数 239人(令和7年4月1日現在)
エリア別施設数(令和7年4月1日現在)
・東京都:25 ・千葉県:19
・神奈川:12 ・茨城県:12
・埼玉県:17 ・北海道:1

■ CONTENTS

会社概要・CONTENTS	1
当社事業の社会とのつながり	2
活動の推進	
CSR活動基本方針 重点取り組み分野	3
CSR活動推進体制	4
CSRとSDGsの関連	5
令和6年度の活動	
安心・安全な施設づくり	7
環境への配慮	9
地域社会への貢献	12
働き方改革の推進	22
コーポレートガバナンスの徹底	23
環境パフォーマンスデータ	24
社会からの評価	25



■ 当社事業の社会とのつながり

■ トップコミットメント ■

当社はUR都市機構グループの関連会社として、URの開発地区における商業施設の運営を通じて、お住いの方々やお勤めの方々をはじめとする地区の皆様へサービスを提供することを目的として発足しました。

会社設立からこれまでの約50年の間、商業サービスの提供や地区の賑わいの創出等の地域への貢献を重視しながら、各地区で商業施設の開発・管理運営に携わってまいりました。現在首都圏を中心に約90施設を管理運営し、各施設において安心・安全の確保や環境に関する取り組みも積極的に行い、地域や社会への貢献を意識した経営を行っております。

昨今、企業の社会的責任の重要性が強く叫ばれるようになりました。当社においても、令和元年(2019年)にCSR活動基本方針を策定し、社内に専門機関を設置しましたが、地域や社会を重視する姿勢を堅持しつつ、より一層CSRを重視した経営を推進し、持続可能な社会の実現に寄与してまいります。



代表取締役社長 田中 伸和

■ CSR活動推進体制の変遷 ■

平成19年(2007年)

「環境と人にやさしい施設づくり宣言」を行い、「ECO・ハート活動」を通じて環境・社会貢献活動を実践するための「環境と人にやさしい施設づくり活動基本方針」を定め、専門組織「ECO・ハート活動推進委員会」の設置をはじめとする推進体制を整備しました。

令和元年(2019年)

様々な社会課題の顕在化・深刻化を受け、当社の事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献するための取り組みを推進するため、「CSR活動基本方針」及び「CSR活動実施要綱」を策定しました。



CSR活動の推進

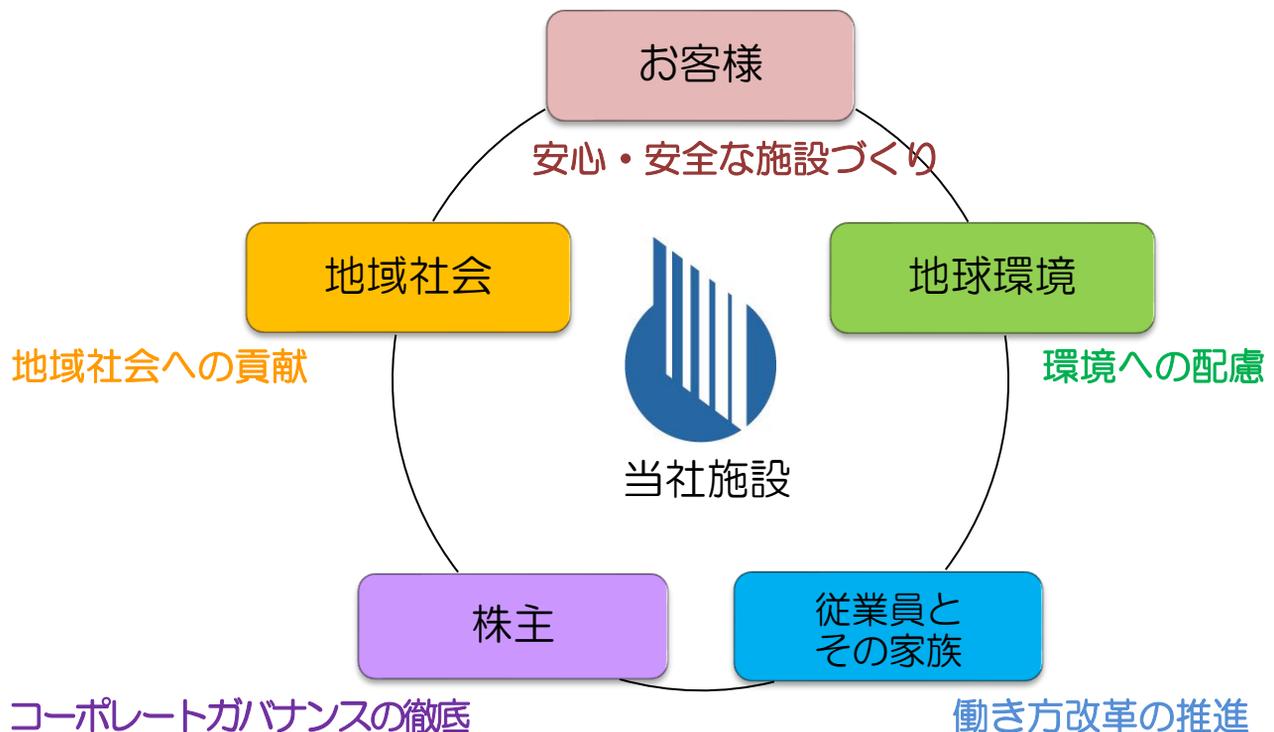
CSR活動基本方針

私たちは、企業理念である「人が輝く街、笑顔が行き交う施設」を実現することを使命として日々活動しています。

その中で、社会的責任を果たすことは重要な企業の役割の一つです。これに積極的に取り組むことにより、すべてのステークホルダーの皆様への社会的責任を果たすとともに、持続可能な社会の実現に繋がるCSR活動を推進してまいります。

重点取り組み分野

当社は、ステークホルダーの皆様のニーズや期待に応え、社会に貢献しながら持続的に成長していくため、各ステークホルダーに対し果たすべき責任をCSRの重点取り組み分野として設定しています。



■ 活動推進体制 ■

当社は、CSR活動を有効に推進するにあたり、「CSR推進委員会」を設置し、CSR活動に関する重要事項についての意思決定を行っております。

また「CSR推進委員会」の下部組織として「CSR推進室」を設置し、

- ・重点取組分野別CSR活動方針に関する計画の立案
- ・重点取組分野別CSR活動内容の取りまとめ

を行い、選択されたテーマについて、各部署と連携してCSR活動を推進しています。

CSR推進委員会

委員長 代表取締役社長
副委員長 経営企画部担当役員
委員 専務取締役
常務取締役
常務執行役員
執行役員
オブザーバー 取締役会長

CSR推進室

室長 経営企画部長
室員 グループ経営推進室長
経営企画部・BCP推進室長
総務部長
施設経営本部 施設経営統括部長
技術部長
光が丘事業本部 運営管理部長
茨城事業本部 業務部長



■ CSRとSDGsの関連 ■

CSR活動への取り組みを通じて各重点取り組み分野に対応するSDGsの達成に貢献していきます。

安心・安全な施設づくり

お客様(*)に寄り添ったコミュニケーションを通じてニーズを理解し、地域の皆さまに必要とされる、安心・安全な施設づくりに取り組みます。

(*)お客様は、「来館者様」、「入居テナント様」、「管理組合様」等を指します。



環境への配慮

省資源活動や環境負荷の低減に努め、環境の保全と汚染の防止を図ります。



地域社会への貢献

当社の商業施設を基盤に、街づくりや地域再生、文化活動、社会貢献活動などさまざまな取り組みを行い、地域の価値向上を実現。地域社会へ貢献していきます。



働き方改革の推進

働きやすい環境づくりを通して、生産性・モチベーションの向上や成長を促し、従業員が心身ともに健やかでいられるようサポートしています。



コーポレートガバナンスの徹底

公正な企業経営を通して中長期的に企業価値を向上するために、コンプライアンス体制・リスク管理など内部統制機能の強化に取り組んでいます。



■ 令和6年度のCSR活動

令和6年度においても、様々なCSR活動を実施してまいりました。
ここでは、その主な取り組みの一部を紹介します。

安心・安全な 施設づくり

防災への取り組み
品質・お客様満足度の向上

省エネ・環境負荷低減
脱炭素社会への実現に向けた取り組み
プラスチック製品利用の削減

環境への配慮

地域社会への 貢献

施設活性化等による地域貢献
情報発信・交換等を目的とした場の提供
社会課題対応拠点施設の整備

働きやすい職場づくり

働き方改革 の推進

コーポレート ガバナンスの 徹底

内部統制システムの運用推進
情報セキュリティ対策

安心・安全な施設づくり

防災への取り組み

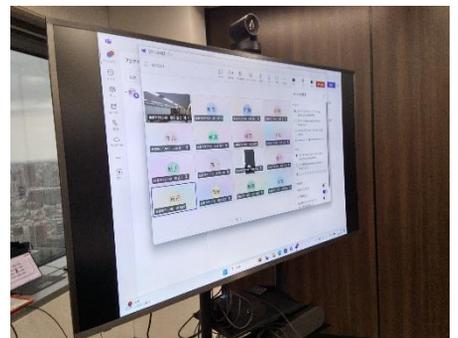
<令和6年度会社防災訓練を実施>

令和6年10月22日、就業時間外に関東地方南部を震源とする震度6弱の地震が発生した想定で防災訓練を実施しました。「安否確認」「参集訓練」「災害対策本部設営(オンライン)」「被災状況収集」などの訓練を行い、発災への対応を確認し、防災意識の向上に取り組みました。



本社参集者

ビデオ会議で災害対策本部活動に参加



<当社が内閣府『「災害への備え」コラボレーション事業』の賛同企業に登録>

内閣府の『「災害への備え」コラボレーション事業』は、政府と民間企業等と政府が協力して、国民の防災意識を高めることにより、日常生活における災害への備えを促進する取り組みです。

当社が主催し開催された「令和5年度 防災企画展」が、防災に関する情報を広め、国民や家庭、事業所の防災意識を高める活動であると内閣府に認められ、当社が賛同企業として登録されました。



株式会社新都市ライフホールディングス

株式会社 新都市ライフホールディングス

取組内容：

- 西新宿エリアの2会場（新宿アイランドタワー・新宿中央公園）で、勤務者・居住者それぞれに向けて、防災に関する意識や知識向上の一助として「防災企画展」を開催

内閣府『「災害への備え」コラボレーション事業』HP内登録企業紹介抜粋

※令和6年度 防災企画展はP12～P13で紹介しています。

お客様満足度向上の取り組み

<あいの里ショッピングセンターにおいて平面駐車場舗装の改良を実施>

北海道札幌市北区に立地する当該駐車場については、寒冷地域特有の凍上を原因とした舗装のひび割れ・不陸の多発が課題となっており、今回、対策として一部舗装については凍上抑制層を新設しました。

これまで春先になると発生していた舗装のひび割れや不陸が改善され、来店されるお客様が安全で安心して駐車場をご利用できるようになりました。



施工前



施工後



凍上抑制層施工中①
既存の路床を約60cmの深さまで掘削



凍上抑制層施工中②
火山灰を厚さ20cmに敷き均し

環境への配慮

省エネ・環境負荷低減

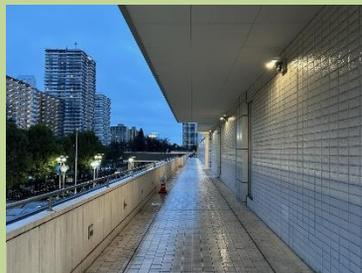
<LED改修の実施>

令和6年度も各施設において、LED化改修工事を実施しました。令和6年度末時点で当社が所有・管理している照明器具のLED化率は72.4%となり、省エネ・環境負荷の低減に寄与しています。令和6年度にLED化改修を実施した主な施設をご紹介します。

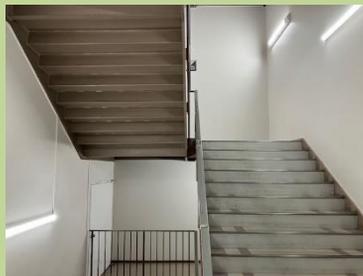
光が丘IMA中央館
(東京都練馬区)



施設全景



2階デッキ通路



専門店階段室



1階デッキ軒下

中野坂上サンブライトツイン
(東京都中野区)



施設全景



3階医療モール待合
スペース

リプレ川口 2番街
(埼玉県川口市)



施設全景



3階共用通路

脱炭素社会へ向けた取り組み

<太陽光発電による再生可能エネルギーの活用>

再生可能エネルギーを有効に活用し、脱炭素社会を実現する取り組みとして、屋根に太陽光発電装置を設置しています。太陽光発電装置を設置している施設は、光が丘IMA(東京都練馬区)の立体駐車場屋上、野田みずきショッピングセンター(Ⅰ)(千葉県野田市)の屋根及び松代ショッピングセンター(茨城県つくば市)の3施設で、発電量とCO2削減量は以下の通りです。

令和6年度 発電実績とそれによるCO2削減量

施設	発電量 (KWh)	CO2削減量 (kg)※1
光が丘	149,578	58,261
野田みずきⅠ	51,880	20,207
松代	65,413	25,478

※1 1,000kWhあたり389.5kgで換算
(太陽光発電協会 表示ガイドラインより)



野田みずきショッピングセンター(Ⅰ)

<環境に配慮したSCビジネスフェア展示什器の採用>

令和7年1月に行われた「SCビジネスフェア2025」の「UR都市機構・新都市ライフホールディングスグループ」の展示ブースは、多くの部分を使用後再生資源としてリサイクルできる硬質紙ボードを使用して制作しました。また一部の什器(新都市ライフホールディングスグループのエリアマップ)を再活用できるように計画し、イベント終了後、新都市ライフホールディングスの本社のエントランスホールに移設しました。



展示ブース全景



エントランス移設後のエリアマップ

環境への配慮

プラスチック製品利用の削減

<エコキャップ回収運動>

平成20年8月から、本社をはじめ各拠点にてペットボトルキャップ回収運動(エコキャップ運動)を実施しています。エコキャップ運動はリサイクルの促進、CO2の削減、医療支援を目的とし、回収したキャップはリサイクル業者を通じて「NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会 (JCV)」へ寄付され、発展途上国の子どもたちへのワクチン代として役立てられています。

令和6年度 ペットボトルキャップ回収実績

回収重量(kg)	回収個数	CO2削減量(kg)※2
1,120	560,000	3,527

(参考)前年度までの累計回収実績 (平成20年度～令和5年度)

回収重量(kg)	回収個数	CO2削減量(kg)※2
24,911	11,090,135	98,232

※2 キャップをゴミとして焼却した場合の発生量
キャップ1kgで約3.15kgのCO2が発生
(NPO法人エコキャップ推進協会HPより)



キャップ回収ボックス
(光が丘IMA)

地域社会への貢献

施設活性化等による地域貢献

<防災関連イベントの開催>

地域の防災に関する意識や関心を高めることを目的に、当社主催により令和5年度から開催している防災企画展。令和6年度は新たに光が丘IMA(東京都練馬区)を会場に加え、令和5年度も開催したSHUKNOVA(東京都新宿区)とあわせ2つの会場で開催しました。本企画展には東京都、練馬区*、新宿区**、東京消防庁光が丘消防署*、東京消防庁新宿消防署**及び独立行政法人都市再生機構から後援をいただきました。

*光が丘での開催のみ**SHUKNOVAでの開催のみ

光が丘IMAでは令和6年11月29(金)～30日(土)の2日間に光の広場をメイン会場に、屋外広場をサブ会場として行われ、約2,000名の来場がありました。



メイン会場光の広場



パネル展示(練馬区)



パーソナルスペースの展示(当社)



被災者搬送訓練
(光が丘地区連合協議会)



防災カードゲーム
(国総研)



非常食試食
(永谷園)



防火服試着体験(光が丘消防署)



起震車体験(東京消防庁)



初期消火活動体験(練馬区)
次ページにつづく

地域社会への貢献

施設活性化等による地域貢献

前ページからのつづき

SHUKNOVAでは、新宿中央公園内の施設前の園路において、令和7年3月8日(土)～3月9日(日)に開催しました。3月9日には、隣接する新宿中央公園の水の広場において地域の町会主催による「防災フェア」も開催され、両イベントの開催により、地域の防災意識が高まる機会となりました。SHUKNOVAでの防災企画展には計8つの企業・団体にご出展いただき、様々なワークショップ、展示が行われました。また同園路では、当社主催によるもう1つのイベント「パークマルシェ」も開催され、当日は多くの来場者でにぎわいました。

「防災企画展」、「パークマルシェ」2日間であわせて約8,500名の来場がありました。



会場全景



流さない、トイレ体験
(工学院大学、クリロン化成)



袋調理
(クリロン化成)



友禅染めワークショップ
(石山染交)



レベル別防災学習
(堺市)



温めずに食べられる非常食
(ハウス食品)



水素自動車
(トヨタモビリティ東京)



パネル展示

地域社会への貢献

施設活性化等による地域貢献

<関係人口創出イベントを開催>

光が丘IMA(東京都練馬区)は、地方の魅力を発信し、都市と地方の関わりを増やすための企画を実施しています。令和6年度も「瀬戸内フェア2024」と「GoTo関門フェア！2024」が開催されました。「瀬戸内フェア2024」は、瀬戸内に面した9都市(大阪市、堺市、姫路市、岡山市、呉市、下関市、高松市、松山市、大分市)が主催し、地域の文化や特産品を紹介するブースの多数の出展がありました。光が丘IMAのテナントであるJTBも瀬戸内観光パンフレットを配布し、来場者の関心の高さが伺えました。カラオケ大会などのステージイベントも盛況でした。



会場全景



物産ブース。岡山市、高松市、下関市各市の名産品等を販売



各市のゆるキャラとIMAにゃんによる大阪万博音頭

「瀬戸内フェア」の翌日に引きつづいて開催された。「GoTo関門フェア！2024」は、下関市と北九州市共催による両市と都市の関係人口創出を目的とするイベントです。

観光に関する情報提供の他、移住希望者に向けて移住、就農の相談会も行われました。

物産ブース(関門マルシェ)では地域食材を使ったお弁当が好評でした。体験型ブースでは、スポーツ体験やワークショップなどが行われ、多くの参加者で賑わいました。



関門マルシェ



北九州市漫画ミュージアム協力による漫画アシスタント体験



サッセンはセンサーを内蔵したLED刀を使って行われる次世代デジタルスポーツ

地域社会への貢献

施設活性化等による地域貢献

<茨城事業本部における地域連携活動>

茨城事業本部施設において取り組んできた地域連携活動のうち、各施設での主な取り組みをご紹介します。

① サプラスクエアサプラ

令和7年2月15日～16日にサプラスクエアサプラ(茨城県龍ヶ崎市)において「りゅうがさき市民活動フェア」が開催されました。龍ヶ崎市が主催するこのイベントは市民活動への参加のきっかけづくりや、団体同士の交流の促進を目的としています。平成19年度から開催され、今回で18回目を迎えます。当社は会場や備品の提供等の協力を行っています。当日は、ステージ発表やパネル展示等さまざまな企画が行われ、2日間で約3,500名の皆様にご来場いただきました。



パネル展示会場全景



龍ヶ崎市の市内SDGS協定事業者を紹介する展示パネル



新都市ライフホールディングスの紹介

② つくばセンタービル

つくばセンタービル(茨城県つくば市)において、つくばセンター地区に立地する企業や団体を中心に構成され、当社も会員である「つくばセンター地区活性化協議会」への協力を通して、当社は様々な活動を行っています。



環境整備活動



ランタンアートフェスタ

※写真:つくばセンター地区活性化協議会提供

次ページにつづく

地域社会への貢献

施設活性化等による地域貢献

前ページからのつづき

③ ひたち野うしく

当社は「人人ニュータウンひたち野中央地区」で商業施設の土地賃貸事業を行い、「ひたち野うしくまちそだて協議会」に加盟し、当協議会の会長を務めています。

当協議会は住民交流を目的に地域イベントを企画・運営しており、7月7日に当協議会が主催し「ひたち野うしく七夕フェスタ2024」が開催されました。今年で16回目を迎えたイベント当日、駅周辺は七夕飾りで彩られ、吹奏楽やダンス、屋台、縁日、ワークショップ、盆踊りなど多彩なプログラムが行われました。猛暑の中でしたが、多くの子どもたちや家族連れで賑わいました。



ダンスパフォーマンス



飲食ブース



駅コンコース内七夕飾り

④ 松代ショッピングセンター他

つくば市が運営主体であるシェアサイクル事業「つくチャリ」は、スマートフォンの専用アプリを用いて、つくば市内各地約50か所に配置されたサイクルポート間を自転車で自由に移動できる有料サービスです。つくば市内の当社3施設（松代ショッピングセンター、竹園ショッピングセンター、並木ショッピングセンターにおいて、「つくチャリ」サイクルポートが設置されています。



松代SCのサイクルポート

地域社会への貢献

施設活性化等による地域貢献

<イルミネーションの実施>

クリスマスの時期を中心に令和6年度も冬期のイルミネーション装飾を行いました。イルミネーションの実施により、施設が地元住民の交流の場ともなり、地域コミュニティの活性化にも繋がっています。当社主体でイルミネーション装飾を実施した各施設のライトアップの様子をご紹介します。



相模大野ロビーファイブ(相模原市南区)



SHUKNOVA(東京都新宿区)



洋光台中央(横浜市磯子区)



光が丘IMA(東京都練馬区)

地域社会への貢献

情報発信・交換等を目的とした場の提供

<クラフトイベントの実施(洋光台クラフトマルシェ)>

令和6年6月と11月に洋光台中央(横浜市磯子区)で当社主催により「洋光台クラフトマルシェ」を開催しました。このイベントは商店街の活性化と地域コミュニティの醸成を目的としています。中央広場ではクラフト作家の展示販売やワークショップ、キッチンカーが出展し、多くの皆様にご来場いただき、大いに賑わいました。



会場全景



▲▼メイン会場でのクラフト作家による展示販売▲▼



毎回人気のキッチンカーコーナー



同時開催された「Yakigashi-ichi」では、焼き菓子やパンが完売するほどの好評をいただきました。また、「こども縁日・うまいもの屋台」も盛況でした。



「Yakigashi ichi」会場



洋光台団地2階CCラボ他を会場として焼き菓子の販売



当日は14の出店がありました

次ページにつづく

地域社会への貢献

情報発信・交換等を目的とした場の提供

前ページからのつづき

別会場の駅前広場では「キッズマルシェ」も開催され、地域の子供たちが作品を販売しました。17ブースが出展し、会場は子ども達の元気な声で賑わいました。



キッズマルシェは駅前広場会場で開催



会場全景



色とりどり、様々な作品が並びました

近隣で地域コミュニティカフェを運営している「結café」でも、クラフトマーケットが同時開催されました。結caféクラフトマーケットは、令和5年6月のクラフトマルシェから同時開催を行っており、商店街から更に拡大して地域団体との連携にも取り組んでいます。



コミュニティカフェやギャラリー等地域のコミュニティの核として機能している「結カフェ」



当日は10組のアーティストが参加



こちらにも多くの人が足を運びました

地域社会への貢献

情報発信・交換等を目的とした場の提供

<IMAホールでの当社主催公演の実施>

地域の文化芸術振興や交流促進の発信拠点と位置づけられる光が丘IMA(東京都練馬区)のIMAホールでは、様々な公演を行っています。

このIMAホールの発信機能をより高めるために令和6年度は、それまで開催されてきた、「IMA寄席」「いまなび」に加え、新たに「IMAのだ自慢大会」「ピアノ体験会」を開催しました。



IMA寄席 令和7年3月公演で第414回目となりました



いまなび シニアや子育て世代を中心とした区民向け講座



IMAのだ自慢大会 初開催にもかかわらず40名超の応募があり大盛況となりました



ピアノ体験会 2つのピアノの弾き比べも可能

地域社会への貢献

社会課題対応拠点施設の整備

<光が丘IMAグリーンスローモビリティ>

光が丘IMA(東京都練馬区)では、地域の利便性向上と脱炭素社会の実現を目指す「IMAエコドライブ！プロジェクト」を令和4年度から実施してきました。令和5年度は夏の雲公園内で小型電動車の試験走行を行い、令和6年度は5月に公道での実証運行を実施しました。実証運行では、光が丘IMA東館と練馬光が丘病院間の約600mを走行。利用者のアンケート結果では高いニーズがあることが確認されました。ただし、実用化にはコストや運営面での課題があることも分かりました。光が丘IMAでは、このような機会を通じて得られる地域の様々なご意見・ご要望を今後の施策に生かしつつ、光が丘がより住みやすい街となることを目指して、サステナブルな取り組みを進めています。



使用車両:ヤマハ発動機 電動小型低速モビリティ(乗車定員7名)



運行は国際興業株式会社に委託

<UR地域医療福祉拠点化の取り組み>

ウェルキャビン稲毛海岸(千葉市美浜区)では、高齢者支援、子育て支援、日常生活利便機能を提供しており、施設内には介護相談窓口付きのコンビニ、訪問介護ステーション、保育園・学童保育を導入しています。

この施設は、URの「地域医療福祉拠点化」の一環として、当社が施設整備・運営に取り組んでいるものです。令和6年6月には、この取り組みに強い関心が寄せられ、韓国流通大学経営大学院の大学院生による視察が行われました。



働き方改革の推進

働きやすい職場づくり

<DX推進計画の策定及び推進>

グループ中期経営計画で掲げた、2030年に目指す姿の実現に向けて、各部の社員で構成するワーキングチームを設置し、外部の専門的な知見を取り入れながら方針や体制、課題等様々な検討を重ね、DX推進計画を策定しました。

今後、策定した計画を基にDXを推進し、人的資本の活用を踏まえ、社員の自由闊達な意見やアイデアを尊重し、積極的に試行しながら真に有効な取り組みを実装していきます。DXの推進により、柔軟な働き方や業務の効率化を実現し、働きやすい職場環境づくりに生かすことも目指します。



<カスタマーハラスメントへの対応>

社会的な問題となっているカスタマーハラスメントについて、東京都におけるカスハラ防止等についての条例制定に伴い、当社でも基本方針・対応の基本書・行動マニュアルを策定し、健全な労働環境を確保するために必要な対応を行いました。

<ネットワークシステムの再構築>

通信速度やセキュリティをはじめとする諸課題を解決するために、モバイルパソコンの導入、サーバー・仮想デスクトップシステムのクラウド化、メンテナンス業務の外部化などの施策を盛り込んだネットワークシステムの再構築を行い、安全かつ快適な業務環境を実現しました。

コーポレートガバナンスの徹底

内部統制システムの運用推進

<コンプライアンス推進のための各種研修>

令和6年度においても、役社員のガバナンス意識の向上と、それによる組織全体のコンプライアンス強化を目的として各種研修を実施しました。各研修についてご紹介します。

○一問一答研修

この研修は、業務の合間に、当社事業に関する必要な知識を得ることを目的に令和5年度から実施しています。今回は各部署から提供された問題をもとに行いました。

○個人情報保護研修

この研修では、個人情報を経営上使用するにあたり、基礎知識や注意点について学びました。また、デジタル化の進展に伴い個人情報保護の重要性が高まっていることを踏まえ、会社の規定やルール、関連するシステムについても確認しました。

○危機管理研修

管理職を対象としたこの研修では、会社の危機管理力の向上を目的として社内マニュアルを再確認し、事故やリスク想定等予防策、事故報告書の書き方等について学びました。

個人情報保護法研修及び危機管理研修にはグループ会社からも計92名が参加しました。

情報セキュリティ対策

<ネットワークセキュリティの強化>

前ページ「働き方改革の推進」にて紹介しました「ネットワークシステムの再構築」において解決すべき課題としてセキュリティの強化があげられています。

ネットワークセキュリティを強化するため、外部と隔離した当社専用のネットワークを構築しました。

環境パフォーマンスデータ

＜施設全体の消費エネルギー＞

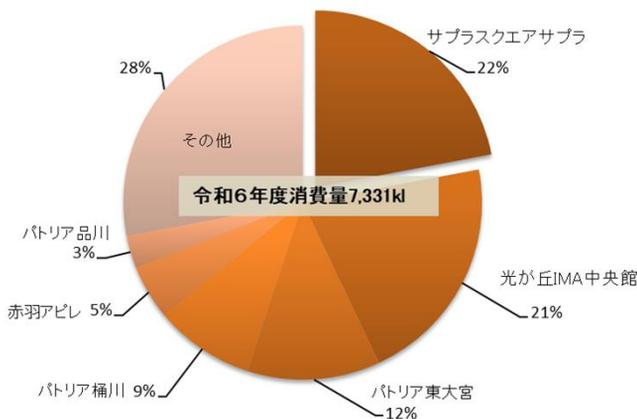
令和6年度も前年度に引き続き、運用上はおお客様にご理解をいただきながら、快適な空間を維持しつつ、空調温度設定や空調時間の調整等や照明設備のLED化等を行い、総合的な省エネルギー化を推進してまいりました。

令和6年度における当社全体でのエネルギー消費量の合計は原油換算で7,331kl、前年度と比較してプラス21.8%、1,310klの増加となりました。管理権原面積は380,587㎡で前年度比マイナス2.4%、9,457㎡減少し、原単位は0.01926kl/㎡で前年度比プラス24.8%となりました。

この原単位増加の主な要因は、旧筑波都市整備株式会社管轄施設が合併に伴い令和6年1月から当社施設となり、令和6年度で初めて通年計上となった影響によるものです。

(令和6年度に係る数値は、令和7年4月末時点の速報値です)

■ 令和6年度消費量割合 ■



■ 前年度比較 ■

	R05年度	R06年度	前年度差	前年度比
消費量(kl)	6,021	7,331	1,310	21.8%
管理面積(㎡)	390,044	380,587	-9,457	-2.4%
原単位(kl/㎡)	0.01544	0.01926	0.00383	24.8%

■ 16年間の推移 ■



■ 社会からの評価

<国連UNHCR協会から感謝状を受領>

国連UNHCR協会の国連難民支援キャンペーンの活動場所として、パトリア桶川店(埼玉県桶川市)において共用スペースの提供等を行い、協力に対して感謝状をいただきました。



©国連UNHCR協会



<東京消防庁から感謝状を受領>

令和6年秋の火災予防運動に際し、光が丘IMAにおけるデジタルサイネージ等を活用した防火に関する広報協力に対して、感謝状をいただきました。





株式会社 新都市ライフホールディングス

編集方針

◇報告対象範囲◇

本報告書は株式会社新都市ライフホールディングスの本社各部、各事業本部の活動の取り組みについて報告しています。

◇報告対象期間◇

令和6年4月から令和7年3月までの活動を中心に記載しています。

◇出典・参考◇

内閣府『「災害への備え」コラボレーション事業』
太陽光発電協会「太陽光発電協会 表示ガイドライン」
NPO法人エコキャップ推進協会「エコキャップ運動とは 地球温暖化」
つくばセンター地区活性化協議会
※一部を除き出典・参考文献はWEBサイトから転載

◇発行◇

令和7年6月

発行部署 株式会社新都市ライフホールディングス
経営企画部 ・BCP推進室
〒163-1328 東京都新宿区西新宿六丁目5番1号 新宿アイランドタワー28階
お問い合わせ先 TEL:03-5323-2325
<https://www.nul.co.jp/>